

①学習課題（中学校2年生）



【国語】

<内容>

○教科書の「枕草子」(P32～33)を読んで、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。(前週からの継続)

<取り組み方>

- ① 「枕草子」(教科書の上段)を3回音読してみよう。
 - ② 清少納言の「春は……。夏は……。」などの書き出しを借り、「枕草子」を参考にして、自分ならではの季節感を表す文章「自分流 枕草子」を現代語で、400字程度で書いてみよう。
 - ・教科書P33「自分流『枕草子』を書こう」を参考にしよう。
 - ・テーマを決めて、表現してみよう。
 - ・清少納言は、四季それぞれの好きな時間帯をテーマとしていました。
 - ・テーマ例)食べ物、行事・植物・動物・天候、身の回りのもの
 - ③ 「枕草子」を参考にした点や、自分なりに工夫した点について、簡単に書き出しておこう。
 - ・例)「枕草子」の「○○○」という表現が気に入ったので、その言葉を使ってみた。
 - ・例)「枕草子」を読むと、色の美しさなどが表現されており、どういう景色か、とてもよく分かったので、読んだ人が、どのような様子か思い浮かべることができるような表現をこころがけてみた。
 - ④ 「自分流 枕草子」と③の内容を家の人に伝えてみよう。
- ※①～③に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。
- ※④について、家の人に伝えることが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するということでもかまいません。

【社会】

<内容>

ヨーロッパの人々の進出によって、世界はどのように変化したのでしょうか。調べたり考えたりしたことを取組シートやノートにまとめてみよう。

<取り組み方>

- (1)教科書 P88～89 の資料①～④や本文から、ポルトガルやスペインが、アジアを目指した理由を2つ書きましょう。
- (2)新航路の開拓は、アフリカやアメリカにどのような影響を与えたのか、教科書 P89 の資料⑧、⑨や本文からまとめてみよう。
- (3)教科書 P90～91 の資料や本文から、ヨーロッパから日本に伝えられたものを2つ以上書き出してみよう。
- (4)ヨーロッパとの貿易や交流が日本の社会にどのような影響を与えましたか、日本の社会の変化に着目して「貿易」と「キリスト教」という言葉を使って説明しましょう。

<学習のヒント>

- (1)教科書 P89 の④「16世紀の初めの世界のように」からイスラム教が広がった地域に着目してみよう。
 - (2)なぜ、スペイン人がアフリカの人々を^{どれい}奴隷としてアメリカに連れて行ったのか考えてみましょう。略地図や図式で表すなど工夫してみましょう。
- 学習の中で登場した場所を、地図帳で確認してみましょう。

【数学】

<内容>

連立方程式とその解について考えよう。

～（教科書 P38）遊園地の乗り物に何回ずつ乗ったか考えてみよう～

<取り組み方>

- ① 教科書 P38 の遊園地には、10 種類の乗り物があります。乗り物に 7 回乗れるとき、どの乗り物に乗りますか。自由に選んでみよう。
- ② チケット 2 枚で乗れる乗り物①と、チケット 1 枚で乗れる乗り物②があります。11 枚つづりのチケットを買ったとき、①で選んだ乗り物に全て乗ることができるか調べてみよう。
- ③ チケットを残さず使い切るためには、①、② 2 種類の乗り物に、それぞれ何回ずつ乗ればよいか考えてみよう。
- ④ 教科書 P41 の問 4 を考えてみよう。

<学習のヒント>

- ① 自分が遊園地に行ったら乗りたい乗り物を選ぼう。同じものに何回乗ってもいいよ。
- ② チケットは何枚余りましたか、何枚たりませんか。ちょうどぴったりということもありますね。
- ③ 例えば、①の乗り物に 1 回、②の乗り物に 6 回乗ると、合計 7 回乗っていますが、チケットは $2 + 6 = 8$ 枚しか使わないので余るね。
チケット 2 枚の乗り物に x 回、チケット 1 枚の乗り物に y 回乗ったとしたとき、遊園地の乗り物に合計 7 回乗ったことから、 x と y の関係を式で表したり表で表したりしてみよう。
また、合計 11 枚のチケットを使ったことから、 x と y の関係を式で表したり表で表したりしてみよう。
式から表をつくるときは、例えば、 x の値が 2 のときの y の値は、作った式に $x = 2$ を代入すると、求めることができるね。
2 つの表から、チケットを残さず使い切る乗り方を見つけられるかな。
- ④ この問題は、16 枚つづりのチケットで、乗り物に 9 回乗るためには、①、② 2 種類の乗り物に、それぞれ何回ずつ乗ればよいかを考えることと同じだね。③で考えたことをもとに、チケットを残さず使い切る乗り方を見つけてみよう。
例えば、④は $x = 5$ 、 $y = 4$ を $2x + y = 16$ と $x + y = 9$ にそれぞれ代入し、解であるかどうか調べるといいね。

【理科】

<内容>

◆食べものの消化について、最初に通る器官「口」がどのようなはたらきをするか考えよう。

<取り組み方>

- ① 口の中に入った食べ物の状態や味はどのように変化していくかまとめてみましょう。（実際に、ごはんやおかずなどをじっくり噛んで確かめてみよう）
- ② ①のときに、唾液はどのようなはたらきをしているか、予想してみましょう。
- ③ 小学校6年で行った「唾液のはたらきを調べる実験」を振り返り、次の2点をまとめましょう。
 - ・ヨウ素溶液は何を調べる薬品で、どんな変化が起きるか。
 - ・唾液とデンプンを混ぜたものにヨウ素溶液を入れたらどうなったか。
- ④ 教科書P16～17の実験1を読み、次の3点についてまとめてみましょう。
 - ・唾液のかわりに水を入れる理由について。
 - ・試験管を約40℃の湯の中に入れる理由について。
 - ・ベネジクト溶液は何を調べる薬品で、どんな変化が起きるか。

<学習のヒント>

- ① 教科書P16の図13を参考にしながら考えてみましょう。
- ② 教科書P17実験のスキルを参考に、ベネジクト溶液の性質について確認してみましょう。
- ③ 下記ページを参考にするのもよいでしょう。

『NHK for School 10min. ボックス「消化と吸収」』

https://www.nhk.or.jp/rika/10min_rika2/?das_id=D0005110143_00000

【英語】

<内容>

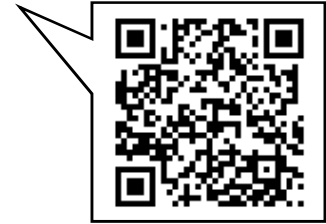
◆これまで学んだ語いや表現を使って、自分や自分の家族・友人について英語で話してみましよう。

<取り組み方> 2種類の学習方法がありますので、どちらかを選択しましょう。

★動画を見ながら取り組む課題です。

(1)ALT の先生が自分の家族について話をしています。どんな内容かを聞きながら、次の質問に口頭で答えてみましょう。

- Q1. Did she talk with her mother yesterday?
- Q2. Where does her mother live?
- Q3. What's her mother's job?
- Q4. Can she meet her mother often?
- Q5. Does she miss her mother?



※右上のQRコードから動画が見られない場合は、札幌市教育委員会ホームページの学習課題からも視聴できます。

(2)ALT の先生の話参考に、あなたの家族や友人について英語で話してみましよう。

※可能であれば、家の人に聞いてもらいましよう。

内容例) ・名前 ・住んでいるところ ・趣味 ・好きなこと ・職業
・(学生であれば)学校名、～年生 ・年齢 ・相手への自分の思い ・エピソード など

(3)(2)で話したことや、話そうとしたことを、「取組シート」や「家にあるノート」に英語で書いてみましょう。

★動画を見なくても取り組むことができる課題です。

(1)1年生の教科書 P108 の山崎さんの自己紹介文を読んで、次の質問に英語で答えてみましょう。

- Q1. Where does he live?
- Q2. Is he a member of the basketball team?
- Q3. When does he play basketball?
- Q4. How many brothers and sisters does he have?
- Q5. Does his sister go to high school?

(2)山崎さんの自己紹介を参考に、自分のことについて(家族や友人のことも含めて)英語で話してみましよう。※可能であれば、家の人に聞いてもらいましよう。

(3)(2)で話したことや、話そうとしたことを、「取組シート」や「家にあるノート」に英語で書いてみましょう。

<学習のヒント>

(1)Yes/No で答える疑問文と、Yes/No で答えられない疑問文の答え方の違いについて1年生の教科書 P109 で確認できます。

★教科書の新出単語、本文などの音声や解説は、教科書会社のホームページから視聴することができます。

※QRコードが読み取れない場合は、教科書会社のホームページから視聴できます。

札幌市教育委員会ホームページ>「臨時休業中の学習課題」>PDF<中学校教科書一覧>



動画の解説もあります。



【 保健体育 】

＜内容＞「体づくり運動」でねらいの異なる4つの運動に取り組んだことを基にして運動の計画を作成し、実践してみよう。

＜取り組み方＞

動画とイラストを参考に関節や筋肉の動きにあった運動を選んでやってみよう。

①【体の柔らかさ】＜18日～22日＞

今週はココ

今後の見通しです。
今週はやらなくていいです。

どの部位を解緊しているのかを意識しながら、可動範囲を徐々に広げるような、負荷の少ない動的な運動から始めよう。

体の各部位を前もって緊張したり、意識的に解緊したりして、可動範囲を広げよう。

リズムカルに曲げ伸ばし

ゆっくり10秒キープ

☞柔らかさ ※やってみた運動を書いてください

☞どのくらいの負荷をかけるとよいだろうか？

※今週は体の柔らかさについて行いました。来週以降
②⇒③⇒④⇒⑤と進んでいきます。

＜学習のヒント＞

- 体の柔らかさで気持ち良いとちょっと痛いところの間を探してみよう。
- 室内で行う場合も安全に留意して行いましょう。

②【巧みな動き】

ゆっくりした動きから素早い動き、小さいから大きい、弱いから強い、易しい動きから難しい動きへと発展させよう。

動きに対応してタイミングよく動く、バランスをとる、リズムカルに動く、力を調節して素早く動く能力を高めよう。

様々な動作

様々な用具

様々な空間

③【力強い動き】

繰り返すことのできる最大の回数などを手がかりに、無理のない運動の強度と反復回数を選んで行おう。

自己の体重や抵抗を負荷として、それらを動かしたり移動させたりして、力強い動きを高めよう。

重い物で

二人組で

自体重で

④【動きを持続する能力】

心拍数や疲労感などを手がかりにして、無理のない運動の強度と時間を選んで行うようにしよう。

1つ又は複数の運動を一定の時間連続して行ったり、回数を反復したりして、動きを持続する能力を高めよう。

1つの種目で

複数の種目で

⑤自分なりに効率よく行う運動やバランスよく高める運動の組み合わせ方を見付けよう。

■①～④の中から2つを選ぼう

--	--

■運動後に実感した効果を考えてみよう

--

【美術】 ※美術は、月に1度の課題となります。

<内容>

- 普段の生活や学校生活がより豊かになるような標識やマークのデザインを考えてみましょう。

<取り組み方> ※別添のワークシートにまとめましょう。

- ① 下の「学習のヒント」を参考にして、生活の中にある様々な情報を伝える標識やマークを見つけ、1つ選んでスケッチしましょう。（できるだけ色鉛筆などで着色しましょう。）
- ② 選んだ標識やマークについて、伝えたい内容をより分かりやすく伝えるための「形」や「色」、その組み合わせ方などの、よさや工夫されているところを自分なりに見つけ、記入してみましょう。
- ③ 普段の生活や学校生活の中で、「標識やマークがあつたらいいな」と思う場面を想像し、いくつか挙げて記入してみましょう。
- ④ 美術2・3の教科書P64～66を参考にして、普段の生活や学校生活をより豊かに過ごしやすくするための標識やマークのデザインを考え、スケッチしてみましょう。
（できるだけ色鉛筆などで着色しましょう。）

※家族に、自分の思いが作品からうまく伝わるかどうか、聞いてみるのもよいですね。

動画の解説もあります。↓



QRコードがうまく読みとれない場合は、札幌市教育委員会HPの「臨時休業中の学習課題」のページから見るすることができます。

<学習のヒント>

①環境を守るマークの例

環境に配慮した商品「エコマーク」



（よさや工夫されているところの記入例）

- ・地球を両腕で抱え込む様子から、地球を大切にしている状態が一目でわかる。
- ・「水色」を使うことで、水の豊かな自然あふれる地球のイメージがよく伝わる。

②暮らしの中のマークの例

妊娠中であることを知らせる

「マタニティマーク」



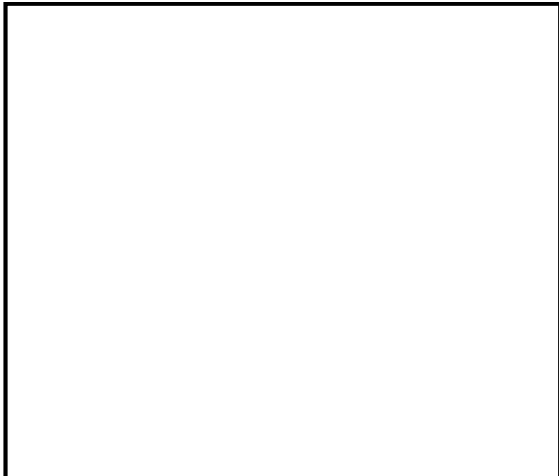
（よさや工夫されているところの記入例）

- ・お母さんが赤ちゃんを守っている感じがよく伝わる。
- ・丸みのあるハート型や、やわらかなピンク色のイメージから、温かい雰囲気や、優しく接しようというメッセージが伝わる。
- ・目をつぶっているところからも、優しさや安心感が伝わる。

【美術】学習課題ワークシート（中学校2・3年生共通）

1 生活の中で見つけた、情報を伝えるための標識やマークを1つ挙げてみよう。

■標識やマーク



■デザインのよさや工夫されているところ



2 普段の生活や学校生活の中で、「標識やマークがあったらいいな」と思うことを挙げてみよう。



3 普段の生活や学校生活をより豊かにするための標識やマークのデザインをスケッチしてみよう。

■標識やマークのデザイン



年	組	番
氏名		